

「世界を知ろう。」

世界の中で、一生懸命生きている子どもたちの存在を知り、
自らの生き方を考えられる児童の育成

大阪府羽曳野市立高鷲南小学校 研究代表者 川崎 直子先生
TEL 072-953-4008 FAX 072-953-5530

1. 到達目標

「世界を知ろう。」をテーマに、おもに総合学習の時間を利用して、1年間活動する。児童は外国の国名もあやふやな状態での出発である。まず色々な国の存在、そこに色々な生活があることを知ることから始める。世界中にはいろいろな生活の中でがんばって生きている同世代の子ども達がいる事を知り、最終的には、自分たちの生活を振り返り、身の回りの友達、そして世界の子ども達のために、今の自分にできることはないかを考えられる児童を育てたい。

2. 実践

4、5月は大阪市内の国際交流センターよりユニセフ製作のビデオを借用し、6年生全員で視聴。初めて、世界の子ども達のさまざまな様子にふれた。

[4/27] (金) ビデオ「ユニセフと地球のともだち」

*ユニセフの活動や世界の子ども達の様子にふれる。

[5/25] (金) 資料「ユニセフと世界のともだち」、ビデオ「世界の12歳」

*この2本のビデオを見ることにより、戦争によって親を亡くした子、水が手に入りにくい地域で懸命に水を運んで家を助けている子、十分な学校設備のない中、懸命に学習しようとしている子たちの存在を知る。また資料を利用してユニセフの活動について学んだ

[6/25] (月) 高速インターネットによるユニセフT・T授業①テーマ (世界の現状)

体育館にて、インターネット回線を通じて日本ユニセフ協会の職員の方に世界の子ども達の様子を聞き、質問をする。

(学年通信13号より)

For every child
Health, Education, Equality, Protection
ADVANCE HUMANITY

6/25 (月) ユニセフによるインターネットを通じて本校授業を持ちました。

一、世界の子ども達が何を考え、どんなふうに住んでいるかを知ること、自分たちの暮らしや生き方を振り返る。

二、調べた力、考える力、書く力、発表する力など総合的な力を育てる。

これらを通じて、国際理解の授業を踏まえていきたいと思います。今回は、東京と本校をネットでのつながり、実際に世界の子ども達の様子を見て、高木小夜子さんの話を、うかがいました。子ども達は、どう感じたか、感想を教えてください。

高木小夜子

ユニセフのことは、パソコンで調べました。私たちの質問を答えてくれました。ビデオだけでは分からなかったことをたくさん知りました。

上野 未起

カンボジアのプアティくんは、必死で水を運んでお水をいれたいという話を聞きました。アルとニコムは、1日4時間、フルタイムで働いて、1日働いての給料10円(1000円)と聞いて、驚きと感動になりました。

お話を集めるのは、国際理解のため、お話を聞くのは、心に響くから、聞いてください。

高木小夜子

(三上さん)は「ユニセフの活動で、カンボジアで働いた話がある男の子に出会ったそうです。その男の子は、お話を支えるために、お話を聞かせるために、一人、一人、お話を聞かせるように働いていました。それを知って、私はお話を聞かせることができました。

高木小夜子

戦争でなくなった子どもも大人もいるけど、また戦争してしまっている国がある。(戦争を)ちよつとやっつけてくたさないと、お話を聞かせるのが一番と聞きました。

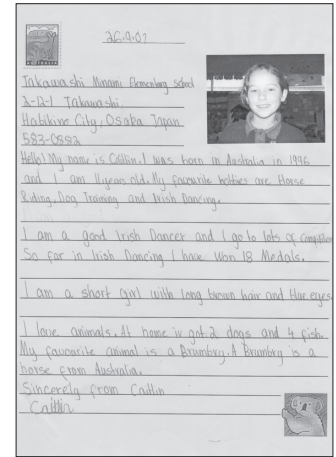
高木小夜子

三上さん、ありがとうございました。

【9月～】 各クラス、海外の小学校と交流を始める。

- 1組 韓国 サバン小学校 6年生
- 2組 オーストラリア Beckenham Primary School 6年生
- 3組 〃 Pembroke Primary School 6年生
- 4組 〃 Gunbalanya Community School 4.5年生

*4月当初は、各クラス違う国と交流をする予定であったが、マッチングの関係でオーストラリアとの交流がほとんどとなった。交流方法としては、メール、手紙、インターネット上の掲示板等を利用して交流を持った。どのクラスも12月末までのほぼ4ヶ月間、交流を続けた。



(マッチングに関して、オーストラリア校はJEARN、韓国校は大阪教育大に協力いただきました。)

【6月～9月】 各児童、自分の興味を持った国について新聞・雑誌・インターネット等を使い調べる。

1班	①伊藤 ハリケーン、メキシコ本土に接近	①住野 オーストラリアの環境問題	②中原 2008年の北京オリンピックに向けて	②恵美 欠席	②増尾 果物作りがさかんなイタリア	③田中 ソ連崩壊	③松田 犯罪が多い国アメリカ	③徳川 世界最大の領土を持つロシア連邦	④田之上 さまざまな民族	④塚本悠 ハイジの生まれ育った国	④西川 インドネシアに謝意	
2班	①北山 面積が大きな大きなロシア	①松下 経済をささえるカカオ	①深河 世界遺産のエアーズロック	②石井恒 スポーツなどでよく知られるアメリカ	②三木 中華人民共和国の野菜の残留農薬について	②麻野 フランス料理は世界で有名	②吾妻 第二次世界大戦で敵だった国	③藤村 紅茶が有名な国	④森野 環境問題にこまるネパール	④塚本真 ペルーで地震がなかった国	④濱田樹 イングリッシュがなかった国	
3班	①沖中 ロシアの人口と面積	①北上 カナ禁漁	①池田 スマトラ島地震	②倉田 竹島を不法占拠	②高城 スポーツが有名なアメリカ	②岡本 スポーツが有名今も続いているイラク戦争	③尾花 サッカーの国	③山下 連続テロと戦う国	④高野 ダックスの人気	④坪田 プータンのひみつ	④川上 ハリケーン『ディーン』	
4班	①背尾 ロシア連邦の面積と人口について	①岩城 大量に輸出するアメリカ	①百瀬 赤の広場が有名	②森田 農作物の豊かな国	②渡部 エジプトの歴史	②池谷 お祭り大好き	③登 オリンピックのある国	③木村萌 橋がわたたいへんな中華人民共和国	③清水 韓国人 人質解放についてとテロが激(アフガニスタン)	④品川 テロに困るイラクの人々	④岡田葉 ラチされた韓国	
5班	①平岡 人口問題	①定 森と湖がある	①竹中 アメリカ合衆国のフードバンク	②香川 サッカーが好き	②山本 始まりが「合衆」	②黒岡 第一次世界大戦の追悼行事	③京屋 さんごしようがきれいな国	③山口晨 メジャーリーグの国	④野 文化財の40%を持っている	④野 意外に面積が広い	④片倉 マダガスカル動物	
6班	①芥子 ペルー地震	①林 メキシコに来たハリケーン	①新出 ピラミッド	②山田千 ゴムの生産率が世界第二位の国	②正木 イベントの多い中華人民共和国	②濱田穂 ロシア連邦の国民と民族	③近藤 スポーツと音楽がさかんな国	③浦木 食べる量が多い国	④大西優 オリンピックに向けて	④岡田学 ローマの歴史	④森田ま 山火事が起こった国	
7班	①嶋 ロシアで起こった学校占拠事件	①小谷 ヨーグルトが有名な国	①有川 イタリアのスポーツ	②平尾 世界で人口第1位	②山田千 意外と小さいドイツ	③尼丁 人が多い中華人民共和国	③西島 さまざまな楽しみがある国	③今田 グレートブリテンと呼ばれる国	④東 鉄道の進化	④大西純 イタリアの調べたことについて(経済編)	④大淵 ミシシッピ川の橋の事故	
8班	①川村 カナダの自然	①石井 テロで困るイラク	①鹿嶋 イタリアのバスタ	②上間 スポーツの有名なアメリカ	②奥野 大きくておもしろいアメリカ	③高橋 地富のある国	③川越 世界で初めて機械で産業革命起こした国	③押谷 東アジアの主な国地域の石油備蓄	④市政 全10万人移住計画	④山口織 魚が多い国	④久保 マハティール前首相の手術	
9班	①木村祐 高速の橋、崩壊	①長谷川 オーストラリアの自然	②中野 爆弾テロ	②山田千 エジプトについて	②守本 フランスと日本の関係	③己波 ギリシャの有名地	③岩谷 二つ並んだ楼閣	③栗原 砂漠化と様々な問題	④森重 インドネシア、バリ島、インドネシア2人目死者	④浅井 アメリカ合衆国の歴史	④大島 世界陸上	
10班	①比夫見 やきゅうが強いキューバ	①松村 世界遺産ヴェルサイユ宮殿	①中村 アメリカでの事故	②長沢 小さい国シンガポール	②吉村 山火事の多い国ギリシャ	②中田 仏教が起こった所	③三野 テロと戦う国	③門野 イタリアローマにまつわる格言	③百瀬 グレートバリアリーフが有名	④倉田 ペルー沖地震脱走680人	④藤原 売れなくなった中国産	④上田 カナダについて!

【9/14】(金) 授業参観にて 自分の調べた国についてのショートスピーチ

【10月～2月】 「国際交流」「世界の国々」「ユニセフ」「環境」「戦争・紛争」「障害者問題」から、各自が興味をもったものを選び、調べ、まとめる。

【10/22】(月) 高速インターネットによるユニセフ・T授業②*「ユニセフ」をテーマに選び、調べている児童が、インターネットを通じて日本ユニセフ協会の職員の方に質問をし、教えていただく授業をもった。

【10/30】(火) 学校説明会において、6年生が、3学期最終の学習発表会に向けて研究中の内容について中間発表をした。

また、学校説明会終了後「ユニセフ」をテーマに選んでいる児童が、説明会参加の保護者に募金活動を行った。



ユニセフについて 子供たちを助ける 死んでいく

6年2組9番 隈部 龍也

10月30日の学校説明会では、6年生全員が一言ずつ発言しました。6年生は2月の卒業レポート発表会に向けて、資料を集めて、レポートを書いています。自分たちが取り組もうとしているテーマについて、一人ずつ2文ほどにまとめ中間報告をしました。今まで総合学習で扱ってきた「各クラスで行っている国際交流」「障害を持つ人を取り巻く問題について」「ゴミ問題について」「世界の国々について」「戦争・紛争について」「環境問題」「ユニセフについて」を大きなテーマとして、各自が訴えたいことを、下の写真のようにプロジェクターに題名を映して語りました。本番の発表会は2月です。子ども達はそれまでに、より、内容を深め発表をしていくことになるでしょう。また、説明会終了後、「ユニセフ」チームが募金活動を行い、保護者の皆さんには突然のお願いだったにも関わらず5297円も集まりました。そのお金は週末に「ユニセフ」のチームの子ども達と郵便局に行き、ユニセフに送金しました。お忙しい中お越しくださった方、募金にご協力いただいた方、ありがとうございました。



【12/17】(月) 全校児童にも世界の子ども達のことを知ってもらおうと、「ユニセフ」を調べている



児童が「ユニセフ委員会」を立ち上げ、全校朝礼にて自分たちの考えを発表。また18日(火)19日(水)に全校児童を対象に募金活動を行った。

【12月末～】 TVプログラム「世界が100人の村だったら」を各クラス順次視聴した。児童労働の実態を知った。

【2/20】(水) 総合学習発表会(公開)にて、「国際交流」「世界の国々」「ユニセフ」「環境」「戦争・紛争」「障害者問題」等のテーマについて長期にわたって調べてきた最終発表会を行った。

3. 成果と課題

国際理解学習の導入としてユニセフ制作ビデオと日本ユニセフ協会の職員のお力を貸していただいた。日頃、TVニュースや新聞に目を通すことの少ない児童が多く、初めて見たり聞いたりすることがほとんどであった。その後、それぞれ自分たちの興味関心に従い調べ学習を続け、自分たちでできる活動を行ってきた。一年間を通じて実践してきたが、どの程度児童の心に響いたか、これからの生き方に影響できたかの答えは今すぐには出ない。「知る」ことができたという入口に立ったばかりであると考え。私たち教師は、児童がこれからも世界の存在を感じ続け、考え続けていく事を強く願う。